

うたづ議会だより

2012
第43号
8.1



かみいしじんじや しゅうひちや
神石神社の「十七夜」祭り行事が7月14日（土）に行われ、「子ども神輿」が町内を運行しました。当神社は、昔、金毘羅さんの神が大亀に乗ってこの地に来られ神は象頭山に鎮座、その亀が石となったものが当神社の石である。よって、かみいしじんじや電石神社（かみいしじんじや電石権現）と呼ばれるようになったといわれています。

Contents

平成24年第2回定例会	2 ～ 3
一般質問	4 ～ 7
視察研修	8 ～ 9
おいでました・意見交換会	9
元気ななかま・主な議会活動・編集後記 ..	10

開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために様々な取り組みをしています。

ご意見等は議会へ

（匿名によるご意見等は受けすることができません）

平成24年 第2回定例会



平成24年第2回定例会は6月7日から6月14日まで開催し、議案6件、報告3件、同意1件、諮問1件を審議し、全て原案を可決、同意しました。また、一般質問は日曜議会として6月10日に行い、議論を交わしました。

主な内容

補正予算

・平成24年度宇多津町一般会計補正予算(第1号)
(657万円)
全会一致で可決

・外国人登録システムの改修

・合併処理浄化槽の設置整備補助金

・給食の危機管理のための非常食購入費

・平成24年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
(378万円)
全会一致で可決

条例改正等

・宇多津町印鑑条例の一部を改正する条例

全会一致で可決

(要旨) 外国人登録証明が必要なくなり、住民基本台帳法が一部改正されたために、印鑑条例を改正する必要が生じた。

・平成24年度バツカー車購入に伴う契約の締結

全会一致で可決

(要旨) 老朽化のため新車(2t) 1台を628万円で購入する。

・平成24年度消防ポンプ自動車購入に伴う契約の締結

全会一致で可決

(要旨) 老朽化のため石油貯蔵施設立地対策事業費補助金を活用し、第5分団のポンプ車を1657万円で購入する。

報告

・平成23年度宇多津町一般会計繰越明許費繰越計算書

全会一致で可決

(要旨) 長縄手地区水路改修事業、社会資本総合整備交付金事業、宇多津小学校耐震改修等工事、宇多津中学校校舎増築等工事の約8億5800万円の内約7億6900万円を平成24年度へ繰越す。

本会議 議員の賛否

○. 賛成 ×. 反対 欠. 欠席（議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する）

主 な 審 議 案 件		西本	濱中	柴村	宮本	大松	池田	青木	藍川	井原
議案	平成23年度宇多津町一般会計繰越明許費繰越計算書	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成23年度宇多津町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成23年度宇多津町水道事業会計予算繰越計算書	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成24年度宇多津町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成24年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	宇多津町印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	宇多津町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成24年度パッカー車購入に伴う契約の締結	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	平成24年度消防ポンプ自動車購入に伴う契約の締結	○	○	○	○	○	○	—	○	○
同意	宇多津町監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	—	○	○
諮問	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	—	○	○

日曜議会

今年度も6月議会で日曜議会を開催しました。近年傍聴者数が20名前後でしたので、今回は町施設や各自治会の掲示板に案内ポスターを掲示してみました。午前の傍聴者は13名、午後の傍聴者は18名で計31名でした。午後が多いのは今回の特徴だろうと思います。ありがとうございました。

なお、通常の議会の一般質問は2日間で行い、一人30分の質問時間がありますが、日曜議会は一人20分の申し合わせにしています。今後も工夫して傍聴数を増やす努力をしていきたいと考えています。

傍聴の方にご意見等をいただきましたので一部を紹介します。

・防犯灯の年間金額が多く掛かっていることが分かった。

・空き家の活用において公共と民間は別との考えが必要と思う。

・一日中いないと全議員の質問を聞けないので、午前全議員、午後全議員ではどうか。

・議員席で質問するのが良いのではないか。

災害時相互応援協定書の締結について

7月17日、本町役場にて岐阜県岐南町と「災害時相互応援協定書」の締結式が行われました。これは東日本大震災の教訓から、本町と同時に大規模な災害に遭う恐れのない遠隔地との協力関係を結び、広域災害などに迅速に対応しようというものです。

岐南町はコンパクトタウン議会サミットで、本町と親交を温めてきた町。これを機に、他のコンパクトタウンとの連携も図っていききたいものです。

※コンパクトタウン：概ね面積15㎢以下の町



幼保、小中学校に防災頭巾を配備してほしい

Q 東日本大震災でも多くの学校において天井材の落下等の被害が発生し、人的被害も生じている。避難する際に、ガラスや瓦等の飛散物や火・熱からの防御にも有効とされる安全性の高い防災頭巾の配備をするべきだと思う。

A 谷川町長

防災頭巾については東日本大震災以降全国的に取り上げられ、その重要性は十分認識している。次世代型防災頭巾などの提案もあり、以前から検討していたが費用その他の状況により、現在予算計上はしていない。一方、防災頭巾の作成に取り組もうとしている単位自治会もあると聞いている。他自治体でも入学準備品の中に防災頭巾を保護者が用意したり、防災頭巾の作り方講座を開いたりしている。いずれにしても様々な観点から意見や提案をいただいております、今後検討していきたい。

Q 今市の町家活用基本構想は3月にアレックス・カー氏から旧粟井・藤川邸活用検討調査の報告書が提出された。どんな用途形態にするのか。また、報告書の滞在形式と新築もできる改修費と町負担の運営費をどうお考えか。

A 谷川町長

報告書では、イベントでの貸出しや貸家・ステイ方式での活用、また外観は現在の雰囲気を残した改修が提案されている。これをもとに基本構想を現在検討している。定住促進には、様々な仕掛けが必要である。集客力のある施設整備により、空き家対策や賑わい創出のきっかけになればと考えている。空き家が減り、地域が活性化すればUターン・Iターンでの定住も図られるのではないかと。改修事業費は、計画の目的などに配慮しながら抑制に努めたい。運営費は基本構想が決定していないため未定である。



大松喜次郎 議員

空き家の利活用について

Q 交付金事業などにより環境整備が進み住んでいる人に優しいまちづくりができ、環境は整い始めたが住んでいる人が少なくなってきた空き家が多くなっている。空き家の把握、情報等の空き家バンクを設置しては。

A 松井政策調整室長

空き家は今後も増加すると思われる、景観や防災防犯上も問題になると予想される。そこで現在、空き家の現況調査を行っている。空き家にはリニューアル等により再利用できるものと老朽化して危険なもの大きく分けて2種類ある。再利用できる空き家対策としては今年の夏頃を目処に設置される県レベルでの空き家バンクに登録し、Iターン・Uターン希望者に情報発信する予定である。その空き家バンクの様子を見ながら、町レベルでの空き家バンク設置等も検討していく必要があると考えている。

Q 自治基本条例について

A 谷川町長

町長は就任以来独自の色々な政策を実行されてきた。住民主導のまちづくりを実現させるために、また町民の権利と責任を明らかにするために自治基本条例等の策定を検討しては。現在町では、諸計画の策定や実施において町長出席座談会や住民会議、まちづくり交付金事業などを住民参画で行っている。また、県下初の取り組みとして4月に立ち上げた町公式フェイスブックページでの最新の情報発信、リアルタイムでの意見収集などのデジタル的手法、さらに目安箱の設置などのアナログ的手法等を取り入れて住民との情報の共有や交換を図り、住民参画・協働などは随分構築されている。自治基本条例を否定はしないが、条例に縛られず住民自治の推進が行われることが大切である。



池田弘昌 議員

うたづエンタープライズ(株) 支援について

Q 撤退が想定されるビブレの
存続を願う5人の個人が出
資した企業によるホテル経営が開
始されたが①新年度からの経営の
経緯②一千万円の補助申請はされ
たか③ビブレ存続のための町の働
きかけは奏功しそうかを伺いたい。

A 谷川町長

うたづエンタープライズ(株)は、
今年4月1日からホテルセントカ
テリーナ宇多津を運営している。
事業所再生助成金の申請は同じく、
4月1日に提出されている。また、
ビブレ存続の町の働きかけについ
ては、イオン側からホテル賃貸契
約延長の申し出もあったと聞いて
いるが、町などの働きかけも影響
していると考えている。町として
は、現在できる限りのことを精一
杯努力している。

Q 町活性化の調査業務を活か
した施策

3月議会で、私はこの報告書の
価値を否定したが、町は当然肯定
した。

以後、報告書を有為にする為に
①まちづくり会社はできたのか②
報告書にあった提案について幾つ
か検討はあるか。

A 松井政策調整室長

まちづくり会社は、今年4月5
日に(株)四国せとうち活性化課という
会社名で設立され、地域の産業創
出にかかる企画について、立地企
業者と協議し地元企業による組織
づくりなどを進めている。報告書
提案の3件ほどの企画について現
在、相手方と協議中であるとの報
告を受けている。一方町でも、報
告書の中で大きな課題と提案され
ているビブレ活性化のため、うた
づエンタープライズ(株)とともにで
き得る限りのことをまずやること
が務めと考えている。



藍川佳津樹 議員

大東川水源仁池で水害 家屋床冠水と刑事告発

Q 昨年5月の台風12号で丸亀
市富熊地区が家屋床冠水し、
その際道路と水路の見境がつかず
60代女性が水路に落ち水死。堰を
引き上げるネジを40cmしか切つて
いないため水門が開かなかつたの
だ。また仁池工事のたびごとに記
念碑5基を業者に建立させている
ことから、今年3月の総代会で私
は理事長を追及した。私は理事長
を刑事告発し、冠水家屋床損害金
支払い等を要請する。なお宇多津
町は仁池の負担金約120万円を
支出している。

A 谷川町長

仁池の冠水については、私が何
か言う問題ではないと考えている
ため、答弁は差し控えていた
だけ。



丸亀市にある仁池の様子



井原猛雄 議員

本町の「男女共同参画」は 進んでいるのか

Q

国は2020年度までに、指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%以上にするという目標を掲げている。本町ではまだ女性の課長もいないが、審議会、委員会での登用は進んでいるのか。また、子育て支援・介護など女性を取り巻く環境を考えると、担当は教育委員会だけでいいのか。

「男女共同参画」とは？

男女が、社会の対等な構成員として、あらゆる分野の活動に積極的に参画することです。自治体は、管理職や審議会・委員会などの女性の割合を増やす必要があります。

A

谷川町長



西本祐子 議員

今年4月1日現在、審議会は13審議会あり、総委員151名中29名が女性委員で比率として19.2%である。委員会は5委員会あり、総委員29名中6名で比率として20.7%である。女性の登用は一步一歩前進させていきたい。担当課については、町政に対する女性の関心を高め将来のまちづくり施策に女性の意見を反映することを目的としたまちづくり女性会議、また婦人会の事務局や社会教育事業の所管が教育委員会であることなどから男女共同参画事業の窓口として教育委員会が担当している。



町民が避難する津波避難 ビルの指定について

Q

宇多津町では、津波避難ビルの防災協定を締結している建物はあるのか。指定基準はどのような内容なのか。JR丸亀駅は、丸亀市と協定を結んでいるが、宇多津駅と協定を結ぶ予定はあるのか。

A

中村危機管理課長

津波避難ビルの防災協定を締結している建物は現時点ではないが、ホテルサンルート瀬戸大橋とは既に協議が整い、協定書の締結と津波避難ビル看板の設置を残すのみである。JR宇多津駅とは現在鋭意協議を重ね、早期の協定を目指す。指定基準は内閣府が津波避難ビル等に係るガイドラインを策定しており、町でもそのガイドラインに沿った町津波避難ビルガイドラインを指定する上での指針として整備している。

Q

JR宇多津駅について



濱中保夫 議員

平成25年度に駅構内にエレベーターの設置を予定しているが、予定どおり設置できるのか。また乗降客を風雨や自転車の乗り入れなどによる被害から守るためにも、北口南口に壁は設置できるのか。

A

松井政策調整室長

エレベーターの設置については、事業を進めるためのバリアフリー化等整備協議会を今年度数回開催し、JRが国への諸手続きを今年度末までに行う。また、工事は来年夏頃から行い平成25年度中の完成に向け進行中である。壁の設置についてJRからは、お客様から特段の要望もなく、多額の費用が見込まれることや駅係員不在時の維持管理上の問題などから困難であるとの回答であった。

通学路の総点検と安全対策について伺いたい



柴村賢三 議員

Q 全国的に通学中の児童・生徒を巻き込み死傷者が出るという痛ましい交通事故が頻発している。

通学路の安全確保の総点検と、その結果と対策・危険か所・通学ルートの見直しについて伺いたい。

A 亀井学校教育課長

全国での重大な交通事故を受け、各小中学校で再度危険か所の洗い出しを実施した。対策として、危険か所ではPTAや交通指導員などの協力により立哨指導等を実施し、児童生徒に対しては学校で交通安全教室の開催などで安全教育の徹底を図っていく。また、今回の調査で要望があった交通安全施設等について関係機関と連携しながら改善に取り組む。通学路の見直しは、小学校では学校・PTA・保護者の3者協議で、その都度必要に応じて見直しを図っている。

Q 外国人の社会規範などについて

行政は在留の外国人に対し、日常生活等においてどの範囲まで指導、監督できるのか。

外国人との交流促進の方策について伺いたい。

A 谷川町長

縁あって当町にいられている。宇多津の良いところを見ていただき、外国人の皆さんに良い印象を持ってもらうような交流を心がけていきたい。

A 藤原住民生活課長

外国人が交通違反や不法投棄を行えば、当然それぞれの法が適用される。それらとは別に行政として指導・監督できるかというと、それに対応する法令は見当たらない。入管法による技能実習生の場合、企業の協力を得て住民生活課がごみの出し方などの説明会を開いている。問題があれば、企業や家主の協力を得ながら解決を図っていく必要があると考えている。

宇多津小学校通学路の改善は



宮本 隆 議員

Q 南部地域から通学する児童の県道西側歩道の水はね対策について。また県営団地東側の信号の所で小中学生が歩道で重なり合い、車道にはみ出し危険だが改善策は。可能であればそこを通らないように通学路の変更を。

指摘の県道富熊・宇多津線の道路改修はPTAの意見を伺い、県に対し町から要望した結果、すでに改修は完了している。

A 谷川町長

現在の長縄手地区の道路形態を見ると、県道沿い以外の東側の道路に通学路を変更することは考えていない。理由として、東側は道幅が狭く、用水路もあり転落の危険性も高いことから学校側との協議で現状では難しい。将来、歩道と車道がきちんと区別された道路環境が整えば通学路の変更ということもあると考えている。

A 亀井学校教育課長

町内1200基余りの蛍光灯タイプ防犯灯の年間の電気料金は。蛍光灯タイプとLEDタイプの電気料金の差額はどれぐらいか。効率よくLEDに替えていけば電気料金の節約になるのでは。

Q 防犯灯について

平成23年度防犯灯の電気料金は、年間621万4000円である。防犯灯の蛍光灯とLEDの1基当たりの月額料金の差額については、蛍光灯20Wに相当する照度のLED10W未満タイプで約117円、蛍光灯32W相当の照度のLED20W未満タイプでは約78円となっていて、LEDの方が経費はかからない。現在、取り替え費用も考慮しながら効率的にLEDへの取り替えを実施している。

A 谷川町長

視察研修報告 静岡市

7月17日、東南海地震発生による津波等に対する防災対策が整備されている静岡市で視察研修を行いました。

静岡市の取り組み

○自主防災組織づくり

自主防災組織の結成状況は、組織率100%で住民の災害に対する意識が高い。

・各町内会で保管する世帯台帳・高齢者実態調査名簿等を活用して安否確認

・地域防災力の体制・強化は、行政と各自治会との自主防災連絡会を定期的に行い意見交換

・防災資機材購入補助制度の活用
・人材育成の講座・研修会・啓発活動、また、住民、学校、行政の3者による地域防災訓練等を繰返し実施

○住民への情報伝達

・防災メールの活用

・気象警報や地震に関する情報、津波情報などの緊急情報を携帯電話やパソコンへ電子メールで発信して伝える。

・同時通報用無線を活用

・気象警報や地震に関する情報、津波情報などの緊急情報を一斉



かつ迅速に知らせるための防災行政無線、専用小型受信機による一斉放送、防災ラジオの整備、電話案内サービス
・県土木災害情報の提供
県が運営する地元密着型防災サイトで天気予報、気象、防災情報、雨量、水位情報をリアルタイムで提供。
「大規模な災害が発生した際、そのときあなたはどの行動しますか？」
私たちは、普段からいつ震災等が発生しても迅速に災害情報や有効な対策がとれるよう危険地域・避難経路・避難場所を把握し、2日間位の食糧も準備しておくことが必要ではないでしょうか。

視察研修報告 群馬県 大泉町

7月18日、大泉町立南小学校、大泉町役場で研修しました。

○大泉町小学校英語科特例校

3年前に小学校5、6年生から英語の授業が必須科目となったことを受け、全国で様々な工夫をされた授業展開がなされています。大泉町は特に先進的に取り組み、内閣府の教育特区の認定、文科省の教育課程特例校（英語科）の承認を受けています。

○英語教育に力を入れる背景

パナソニック・三洋電機ほか大企業の工場が集まる町にブラジルなどの外国人労働者が増え、人口4万1千人のうち外国人登録者は約7千人で16・8%の比率を占めています。

このような事情により、早くから国際化（グローバル化）を意識せざるを得なかったと思われます。

○3人1組の教師陣

英語の授業開始は小学校2年生の2学期。3人の教師を配し、学級担任・J・T・E（日本人英語指導助手）・A・L・T（英語支援教師）がそれぞれの持分をもって、チームとして子どもたちの指導にあたっています。



<小学校2年生> 3人1組の先生と子どもたちの絶妙な掛け合いは見ていて楽しく、先生方のたゆまぬ打ち合わせ、教材作成等の努力が垣間見える。

○教材に機械類は一切なし
驚くことに教室に電子黒板やプロジェクター・パソコンなどの教育機器は一切ありませんでした。教育は人と人のコミュニケーションが重要であるということでした。
○授業はゲーム感覚
参観した授業は2年生。実に工夫された内容はゲーム形式を取り入れ、子どもがいきいきと参加発表しており、我々が参観していることを割りいても画期的な授業でした。

視察研修報告

神奈川県 寒川町

7月19日、通年議会を採用している神奈川県寒川町（さむかわまち）に行きました。

地方自治法では議会の招集権は首長にあり、従来年4回の定例会と必要に応じて臨時会を招集し議会を開くことが通例で、議会が主導的に議会を開く仕組みではありません。

寒川町では定例会を年4回から1回とし、その会期を年間とする『通年議会』を導入することにより議会の判断でいつでも議会を開くことができ、議会が主導的に活動できることになりました。また、災害時の緊急対応や突発的な行政課題に対し速やかに議会を開き対応することも可能になります。わかりやすく言えば、議会が終わっても閉会でなく休会になります。

通年議会のメリット

- ・町長の専決処分がなくなる
 - ・議員提案の議案はいつでも提出・受理できる
 - ・委員会の閉会中の継続審査の手続きが不要
 - ・議会が主導的機動的に活動できる
- 通年議会は、執行部の協力も必



要です。実質議長が招集権を持つということですが。結論は、町及び町民に何かがあったときすぐに対応できることです。賛否はあるかもしれませんが、町のために一番良い方法を見出したいと思っています。

おいでました

徳島県北島町

6月1日（金）

徳島県北島町より5名がコンパクトタウン議会サミットについて来庁されました。

第1回、2回を宇多津町で開催、3回は岐阜県岐南町で開催し、4回が北島町で開催予定です。準備の手順・案内状の出し方・基調講演はどのようにするか、岐南町のようにテーマを決めての分科会がよいのかなど多くの質問がありました。開催される町が独自性を出し、町の特色を活かすことになりました。

3回でようやく全国に広がってきたので、次回は少しでも多くの町が参加してくれることを期待します。それには議会誌（議会人・ガバナンス）に掲載・PRする必要があります。将来的にはコンパクトタウン議員連盟で政策、陳情を全国議長会に提案するなど決して参加して終わりではなく、次に繋いでいかなければなりません。

5回の開催は神奈川県寒川町の予定です。



宇多津商工会青年部との 意見交換会

6月28日（木）青年部員12名と議員5名で意見交換会が行われた。

テーマ

○商工業者を盛り上げるための施策

○今後のまちづくりの方針

○今後の教育計画について

商工会からの意見
・様々な行事において窓口を一本化して日程調整をしてほしい。

・ボランティア、福祉活動で町に貢献している個人、企業に宇多津ボランティアポイントや認定書を発行しては。

・新都市に小規模企業が進出しやすいような企業誘致条例を。

これからの宇多津を背負っていく人たちがかりなので貴重な意見を聞くことができました。

それをどう具体化していくか今後とも協力して実現していきたい。



元 気 な ほ か き グ ル ー プ 紹 介

ボランティア「モコモコ」

あなたの笑顔が見たいから…

平成16年の発足当時は、学校の参観日や入学式などでの託児を中心に活動していました。また、近所付き合いの希薄な新都市で、お母さんたちが孤立しないようにと託児付きのお菓子作りや陶芸を始めました。町が子育て支援事業を充実させる中、子育て中のお母さんたちだけでなく、子どもたちのために、家族のために、地域のために…と活動の輪を広げてきました。

現在も続けている「お母さんのためのリフレッシュ講座」では、赤ちゃん連れの方からお孫さんのいる方までが、陶芸やスクラップブックキングを楽しんでいます。また、「夏休み宿題お助け隊」では習字や絵画の宿題のお手伝いを中学生ボランティアの助けを借りて行っています。

夏休みの終わりに恒例の「ぴっころECCOショー」をユープラザで開催していて、夏休み疲れ(?)の親子、保育園児からデイサービスのお年寄りまで、

いろいろな方々が楽しみにしてくださっています。今年は8月30日(木)の午前と午後。あなたもぜひ、保育園児と一緒に、おなかの底から笑いにいらしてください。



ぴっころECCOショー



保育園児もお年寄りも楽しんで…

主な議会活動

5月

- 1日 定例議員総会
- 7日 議会運営委員会
- 11日 第1回臨時会
- 17日 議会運営委員会
- 24日 議会運営委員会

6月

- 1日 北島町(徳島県)視察来庁
- 4日 全員協議会
- 7日 第2回定例会 本会議
- 10日 一般質問
- 11日 総務民生建設教育合同委員会
- 12日 総務民生常任委員会
- 13日 建設教育常任委員会
- 14日 全員協議会 本会議
- 18日 広報委員会編集会議
- 28日 意見交換会(商工会青年部)

7月

- 3日 定例議員総会
- 12日 臨時議員総会
- 13日 広報委員会編集会議
- 17日 行政視察研修(静岡市)
- 18日 行政視察研修(大泉町)
- 19日 行政視察研修(寒川町)
- 23日 広報発行町議会連絡協議会

編集後記

これから本格的な夏を迎え、各自治会で夏祭りが開催される季節になりました。宇多津町では、8月11・12日の2日間うたぎ夏まつりが行われます。皆さまの参加により大いに盛り上げて頂きたいと思います。また、町議会では、『こうほう』という赤い腕章を製作いたしました。腕章をつけた私たちが各種団体の写真を撮りに伺いますので、気軽に声をお掛け下さい。(H・Y)

- 議会広報特別委員会
- 委員長 大松喜次郎
 - 副委員長 宮本 隆
 - 委員 柴村 賢三
 - 委員 濱中 保夫
 - 委員 西本 祐子